



ナース★アクション

憲法でアクション!! ケアこそ未来を切り拓く



vol.17

2024.8.22
全日本民医連
職員育成部

<https://kirarikango.com/>

「オール地域」で「たたかい」の前進を 現場からの声を伝えて、社会を変えよう!!

全国看護学生アンケート調査結果も活用して、医療・福祉最優先の政治を求めましょう

去る7月1日(月)に222人が参加したナース★アクション2024全国学習実践交流集会を経て、県連単位でのアクションが進んでいます。首相の顔が変わっても、わたしたちの声に耳を傾けない政治家では、いのちも暮らしも守れません。大軍拡ではなく、医療と福祉、ケアを最優先する政治に、地域から現場から声を挙げ続けましょう。

◆山形◆市民と野党の統一候補として当選した芳賀道也参議院議員に県民の切実な要望を伝え、国などに対する働きかけを求める

①県民医連で取り組んだ山形県内病院アンケートの結果では、2020年以降赤字の病院が増え、資金繰りさえ厳しい医療機関が増加。基本的な報酬部分の抜本的引上げを求めている医療機関が多い。地域医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定や、補助金等の財政支援措置を行うように、国や関係機関に働きかけて欲しい。

②『看護師の養成』『労働環境の改善』『潜在看護師の復職支援』を国へ求めている。夜勤可能者が不足し、看護職を確保し病床数を維持するためには紹介業者に頼らざるを得ない。業者に多額の紹介料を支払い採用しても、短期間で退職してしまう例もある。このままでは病床を維持していくのが困難。処遇改善など、私たちと一緒に取り組みを。

③2024年全国看護学生アンケート調査では、高学費と物価高騰により、貯金を切り崩して生活したり、アルバイトを増やしたりする学生が多くなっている。看護師になりたいくても、金銭的理由であきらめなければならない学生が増えてしまう。高等教育無償化と看護職養成校への補助拡充を。

議員からは、「返済不要の奨学金を借りていた学生が、弟が卒業して働き始めたら、奨学金を止められ、返済が必要な奨学金を借りなければならなくなった事例があった。防衛費ではなく学費に対してこそ財源を確保し、国の責任で看護、介護人材の確保を進めるべきだ」との返答がされました(写真)。



◎「長洲(ながす)事件裁判」支援の署名にご協力ください[8月末です]。

◎9月2日(月)の公開学習会もご予約ください。

★詳しくはきらり看護のページ参照

<https://kirarikango.com/>



◆青森◆日本共産党県議団と懇談

①看護師確保等や処遇改善評価料等を主とした課題についての共有、②青森県の地域医療介護総合確保基金の活用状況、③県議会の傍聴の際の注意点について、懇談した。

県議から「今年度の予算で看護師等の就学資金の貸与額が25人から146人に増え、200床以上の病院に使えなかったが、使えるようにした。これも県立病院で看護師退職が相次ぎ一病棟閉鎖した実態が看護師から伝えられて定例議会で議論になったため」と。議員に具体的な要望書として繰り返し伝えることと、議員も積極的に現場の声を聴き取りに行く双方の努力が必要との交流がされた。

懇談後の所感として、要望をまとめ、それをもとに訴えを起こしていく事の必要性を認識した。県連内でも看護委員会だけでなく、病院を守る、地域を守る観点から、医師や県連事務方とこの問題を一緒に共有し、懇談等とともに訴えていく事を実践したい。